第2回審議会でのご意見と対応

区分	意見概要	市の考え方	資料番号 頁
序論	(1)の地域資源について「人的資源」は入らないのか。 C4:D11C4:D12C14CC4:D14	「地域の <u>人材</u> と歴史や文化、自然などの資源を活かして」 に修正する。	参考資料1 P.2
序論	進捗管理の手法は色々あり、PDCAだけを書かなくてもよいのでは。 もし書くなら、PDCAサイクルのスパンを短くすることが重要。	進捗管理について、表現を修正する。 スパンは現状の1年が最短。	参考資料1 P.3
序論	理想と現実のギャップが「課題」なので、目標を最初に定めた上で、課題が出てくるのではないかと。	「まちづくり課題」の表現を改め、序論の「まとめ」として2～4章の結果から導き出された課題として記載する。	参考資料1 P.28-30
序論	基本計画を立てる前提で課題が立てられており、違和感がある。		
序論	先に課題が出ていると、将来像が見えにくい。		
序論	課題について、「誰一人とりこぼさない」という文言があってよいのでは。	⑥に追記する。	参考資料1 P.30
序論	DXについては、苦手な方への対応も行う必要がある。	⑥に追記する。	参考資料1 P.30
基本構想	将来像のコンセプト、キャッチコピーはMVV（ミッション、ビジョン、バリュー）が重要。	将来像は「ビジョン」に近いもので、10年後の「ありたい姿」を掲げるもの。 第1章の冒頭に「将来像」の位置づけを記載する。	資料2 P.1
基本構想	将来像は短く簡潔で、誰でもイメージできるものがよい。 「幸せ うまれる 下野市」はどうか。	将来像の案1として提案する。	資料2 P.2
基本構想	課題1, 3に関連して、高度な医療が下野市の強みだが、ケアする側に焦点を当てた「支える人へのサポート」を将来像として打ち出してはどうか。	将来像の案2として提案する。 施策大綱の目標3にも「支え合う」という表現を入れる。	資料2 P.2

区分	意見概要	市の考え方	資料番号 頁
基本構想	「しもつけ ぐらし ウツテツケ」は使わないのか。子供にも浸透している。	将来像の案3として提案する。	資料2 P.2
基本構想	「東の飛鳥」と「あした」をつなげてはどうか。	将来像の案4として提案する。	資料2 P.2
基本構想	方向性にかかれている「誰もが幸せを感じられるまち」が全てを包含している。	将来像の案1、2として提案する。	資料2 P.2
基本構想	「市民の誇りと愛着醸成」に結び付けていければよいのでは。	将来像の説明に記載する。	資料2 P.2
基本構想	下野市の田園風景の維持には農家の力が必要。地籍調査等を進めて農地を集約・広げていく必要がある	施策大綱の目標4の施策の方向性に「田園景観の維持」という表現を入れる。	資料2 P.9